

“私はロボットではありません” に潜む詐欺の罠



インターネットをしていると「私はロボットではありません」と表示される認証画面（CAPTCHA）が表示されることがあります。指示に従って認証を行うとサイトにアクセスできるというものです。最近このシステムを悪用した詐欺が増えています。

見慣れた画面に潜む詐欺の手口

この認証画面（CAPTCHA）は本来、機械による不正アクセスを防ぐためのもので、有名などころでは複数の画像を表示して「この中から車の画像をすべて選んでください」などと指示してくるものがあります。この認証システムが一般的に普及した結果、偽の認証画面を使って、利用者に不正な操作をさせる新しい詐欺の手口が確認されています。見慣れたシステムなので特に注意せずに指示通り操作してしまいがちですが、そこに悪意のある不正なプログラム等が仕掛けられていることもあります。

不自然な操作を求められたら注意



Windowsキーはキーボードの左下にあるキーのことです。

偽物のCAPTCHAを使った詐欺では、見慣れた認証画面を表示したうえで、「Windowsキー + Rを押してください」「Ctrl + Vを押してください」「OKをタップして次へ進んでください」といった不自然な操作を求めてくるケースが多く見られます。これらの指示は、実はコンピュータウイルスが侵入することを許可する危険な操作になっており、個人情報等を盗み取られたり、コンピュータウイルスに感染させられたりしてしまいます。

不自然な操作には実はこんな意味があります。

- 「Windowsキー + Rを押してください」 → 端末にファイルを実行させる準備をする操作
- 「Ctrl + Vを押してください」 → 不正なファイルを貼り付ける操作
- 「OKをタップして次へ進んでください」 → 貼り付けた不正なファイルの起動を許可する操作

スマートフォンを対象とする手口では、「通知を許可してください」「プロフィールをインストールしてください」といった形で、端末の設定を変更させるケースもあります。見慣れない操作を求められたときには安易に実行せず、一旦認証を中断してください。

家庭での指導

インターネット上の詐欺は新しい手口がどんどん増えています。今回紹介した偽物のCAPTCHAを使った詐欺に限らず、「よく見かけるものだから安全だろう」と思い込まず、書かれている内容を確認して冷静に判断することが大切です。また、冷静な判断をさせないように操作を急かす手口もありますので、怪しいと思ったらすぐに画面を閉じるという対処方法を身に付ける必要があります。子どもをトラブルから守るために、各家庭において、インターネット利用における落とし穴や気を付けることなどについて、話し合ってみましょう。

